

平成26年度園芸学会秋季大会シンポジウム課題

2014/9/2 集会幹事

日時:平成26年9月27日(土)13時~17時

場所:佐賀大学本庄キャンパス

I. 果樹のジョイント栽培研究の展開と実用化への取り組み (公開シンポジウム)		会場:教養教育大講義室
	コンビーナー: 神奈川農技セ	柴田健一郎
1. 果樹の樹形・仕立ての特徴と今後の展望	岡山大院	森永邦久
2. ナシのジョイント栽培と樹体内における養水分、同化産物の動態	農研機構果樹研	井上博道
3. カキのジョイント栽培による早期成園・省力・安定生産技術の開発	福岡農林総試	朝隈英昭
4. ジョイント栽培はリンゴ産業に一石を投じられるか	長野果樹試	小川秀和
休憩		15:20 ~ 15:35
5. 広島県におけるジョイント栽培のモモへの応用の取り組み	広島総技研農技セ	浜名洋司
6. 実用化事例 福島県におけるナシ産地復興に向けたジョイント栽培活用の取り組みと課題	福島農総セ果樹研	額田光彦
7. 実用化事例 鳥取県におけるオリジナル新品種早期普及に向けたジョイント栽培の活用と課題	鳥取農林水産部	角脇利彦
総合討議		16:50 ~ 17:15
II. ウリ科野菜の育種研究の現状と将来方向について (公開シンポジウム)		会場:教養教育2号館3F231
	コンビーナー: 農研機構北海道農研	杉山慶太
1. カボチャの育種研究の現状と今後の課題	農研機構北海道農研	嘉見大助
2. キュウリの国内外の育種研究の状況と将来に向けて	農研機構野菜茶研	下村晃一郎
3. メロンの育種技術と品種開発の動向	茨城農総セ生工研	石川友子
休憩		14:40 ~ 15:00
4. スイカの国内品種の動向と地域ブランドの取り組み	秋田農試	椿 信一
5. ウリ科野菜における最近の重要病害と育種的対応	農研機構野菜茶研	杉山充啓
6. ウリ科野菜の海外における育種の現状と国内育種の方向性—スイカ, メロンの動向—	タキイ種苗(株)	東海林 靖
総合討議		16:30 ~ 17:00
III. バラ切り花に関する新たな研究展開 (公開シンポジウム)		会場:教養教育2号館2F221
	コンビーナー: 農研機構東北農研	稲本勝彦
1. 日本のバラ生産生き残りのための研究戦略	岐阜大	福井博一
2. バラの温度変化への応答と切り花の形態	広島総技研農技セ	梶原真二
3. バラ切り花生産における局所加温を中心とした効率的温度管理	かながわ農業アカデミー	原 靖英
休憩		14:40 ~ 15:00
4. バラ切り花の生産性・日持ち性を左右する環境要因	農研機構東北農研	稲本勝彦
5. 分子遺伝・生理学からみたバラ切り花の日持ち性	中部大	山田邦夫
6. 芳香性バラの遺伝資源と育種	岐阜国際園芸アカデミー	上田善弘
総合討議		16:30 ~ 17:00
IV. 園芸作物の抗酸化機能における研究の今と応用への展開 (公開シンポジウム)		会場:教養教育2号館1F211
	コンビーナー: 大阪府立大院	今堀義洋
1. 植物のアスコルビン酸生合成経路と光調節機構	島根大	石川孝博
2. 野菜苗生産における抗酸化	千葉大院	浄閑正史
3. 園芸作物のクロロフィル分解と抗酸化機構	山口大	山内直樹
休憩		14:55 ~ 15:15
4. 園芸生産物の抗酸化能評価とその意義について	信州大院	濱渦康範
5. 野生ブドウ「リュウキュウガネブ」の高抗酸化能の開発と応用	大阪府立大院	塩崎修志
総合討議		16:25 ~ 17:00